

協会だより

常任理事会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 北川義信)の常任理事会は、4月1日(水)午後2時から石川建設総合センター特別会議室において開催された。

冒頭北川会長は、「北陸新幹線が開業し、開業の効果が上がっているように感じる。本年度は担い手確保に取り組む一方、最低制限価格の引き上げを大きな課題としてまいりたい。」と挨拶。

引き続き議題では、次の項目に関して報告がおこなわれた。

1. 27年度土木工事積算基準の改定について 2. 県発注工事の下請負契約における社会保険未加入事業者の排除について 3. 建設企業(団体)行動憲章の改定について 4. 建設業をめぐる最近の話題について 5. 地区協会からの報告について 6. 今後の行事予定について 7. 会員受注高調べについて 8. その他、(株)坂田組(金沢市)の自己破産申請について。



国土交通省北陸地方整備局長の着任挨拶

本年4月1日付で、国土交通省北陸地方整備局長に着任された、藤山秀章氏が、4月8日(水)金澤文彦金沢河川国道事務所長と共に、石川県建設業協会を訪れ、出迎えの北川義信会長、協会役員等に着任の挨拶を行った。

藤山局長は、新潟県長岡市の出身で、北陸地方の勤務は今回が初めて。挨拶後の懇談で藤山局長は、建設予算に対する国民の正しい理解を得る努力が必要と述べる一方、北川会長からはマスコミ等を交えた「いしかわの地域を支える建設産業ビジョン」づくりや、全県的な歩切の撤廃への取組みなど県協会の先駆的な活動等に耳を傾けられ、その後は協会役員と和やかな懇談が行われた。なお、新局長の略歴については次の通り。



協会役員との懇談風景

北陸地方整備局 局長略歴

藤山 秀章(ふじやま ひであき) 昭和32年5月22日生

出身(本籍) 新潟県

昭和56. 3 北海道大学工学部土木工学科 卒業 上級甲種(土木)

昭和56. 4 建設省採用

平成 6. 4 同 河川局 河川計画課長補佐

8. 4 同 中国地方建設局 斐伊川・神戸川総合開発工事事務所長

11. 10 同 大臣官房付



藤山局長近影

- 平成12. 1 フィリピン共和国(マニラ)派遣
 17. 4 国土交通省 河川局 河川計画課 河川情報対策室長
 19. 4 岐阜県 都市建築部長
 22. 4 国土交通省 関東地方整備局 利根川上流河川事務所長
 26. 7 同 水管理・国土保全局 水資源部長
 27. 4 現職

国土交通省北陸地方整備局営繕部長・金沢営繕事務所長の着任挨拶

4月15日(水)に北陸地方整備局の佐藤彰芳営繕部長と佐々木賢一郎金沢営繕事務所長が新任の挨拶の為、当協会を訪れ、平櫻建築委員長と橋本、岡副委員長に挨拶を行った。

佐藤部長は、本庁の営繕積算システム官からの異動であり、積算基準、予定価格の設定等を中心に意見交換がなされた。

佐藤部長からは、

- ・土木工事の経費率については、4月1日から改定されたが、営繕工事についても検討を始めているところであり、価格調査等にご協力を願いたい、また、予定価格の設定に際しては見積活用方式を試行しており、最新の単価を計上しているとした。
 - ・積算数量については、「営繕工事積算チェックマニュアルの策定」をしたところであり、市町等の活用を進めてまいりたいとし、数量の歩切等はあってはならないことであり、積算精度を上げる仕掛けを進めてまいりたいとした。
 - ・工期の設定についても、「営繕工事における工期設定について」を策定したところであり、土日に休みが取れるように進めてまいりたいとした。
 - ・業界の生の声を聴き営繕工事に反映する為、今後もこのような会合を持ちたいと話し、平櫻委員長も整備局と建設業協会との意見交換会に営繕部からもご出席の上、ご指導賜りたいと応じた。
- 整備局の武藤 孝官庁施設管理官、松本周介計画課長、金沢営繕事務所の安田彰吾技術課長も同席した。



平成27年度知事あいさつ・要望

石川県建設業協会と石川県建設産業連合会合同で平成27年4月23日(木)午後、石川県谷本知事を訪ね下記のお礼と要望を行った。

【お礼】

- ・新県立中央病院建設の推進について
- ・全市町の公共事業の歩切り廃止指導について
- ・公共事業積算基準(一般管理費等のアップ)の改定

【要望】

改正品確法(公共工事の品質確保の促進に関する法律)の理念である担い手の確保・育成を図るため、適正な利潤の確保が可能となるよう最低制限価格の引上げについて。



要望説明は、平成26年度の土木総合事務所別の平均落札率の資料から、県央土木総合事務所管内が91.3%と最も低く、中には88%周辺での落札もあり、このような低落札では一般管理費の確保が困難な状況であることを具体的な資料をもとに北川会長が熱の入った要望を行った。

知事は、まずは国が引上げることが重要であり、業界として国にも要望するよう促された。

最低制限価格（低入札調査基準価格）の引き上げは、全国的にみても北海道、新潟県、福井県、島根県、長崎県など17道県で引き上げており、北川会長が今年度の最重点事業としているものであり、今年1年をかけて精力的に取り組んでいく所存である。

（知事あいさつ・要望の参加者）

・石川県建設業協会

会 長 北川義信

副 会 長 吉光武志、明翫章宏、小倉 淳

常任理事 鶴山庄市、平櫻 保、小柳正彦、竹腰勇ノ介

・石川県建設産業連合会

会 長 北川義信

副 会 長 吉光武志、柿本自如（管工事協同組合理事長）

委員会の開催

土木委員会

正副委員長・懇話会(世話役)合同会議の開催

土木委員会（委員長 鶴山庄市）は、平成27年度の第1回役員会及び第1回全体会議に向けての事前会議を正副委員長と懇話会座長及び金沢在住の懇話会を構成メンバーとした合同会議を去る4月15日(水)に開催した。会議は、下記の議題をについて審議し散会した。

審議内容

平成26年度収支決算書について

・収入及び支出内容について適正であることを確認した。

平成27年度活動方針（案）について

1) 全体会議日程について

・県幹部に出席をお願いすることから、日程は議会開催時期を避けた5月下旬又は7月上旬とする
とで、県土木部と調整を行い決定する。

2) 研修会について

・平成27年度は、現場見学会を研修会と兼ねる方向で調整を行う。

・実施時期は9月上旬とする。

・場所は関東方面とし、大規模土木施設や土木遺産を視察ルートに入れる。



役員会状況

3) 活動方針(案)について

- ・事務局提案内容で実施することを了承した。

平成27年度予算(案)について

- ・収入の部では、特別会費(個人負担額)の増額と、支出の部では会議費及び懇談会費、現場視察などについて、経費の削減に努めながら活動を行うことを確認した。

土木委員会事務局業務について

- ・事務局業務の所掌内容を確認した。

最近の話題(情報提供)

- ・最近の話題として、情報共有システムの利用料金の積算上の取り扱い、3R推進功労者表彰制度、H27年度の発注見通し、工事書類の二重納品防止、担い手3法の本格運用などについて、通達文書や新聞記事により情報提供を行った。

広報・研修委員会

企画部会の開催

企画部会(部会長 竹腰勇ノ介)は、4月22日(水)午前10時30分から石川県建設総合センター401会議室において部会を開催した。

冒頭竹腰委員長が挨拶を行い、引き続き、下記の通り議題審議が行われた。

1. 協会報5月号について

新規企画「今月の『輝き!』さん」については、広報・研修委員会の委員企業所属の社員を対象に継続し実施してゆくこととした。

2. 建設産業キャッチフレーズの活用について

建設産業の広報力強化の一環として作られたキャッチフレーズについては、会員企業の現場ヘルメットに貼付することとし、文字色の検討がなされた。

3. 研修所からのお知らせ

- ・平成26年度研修企業実績
 - ・新入社員研修実施報告
 - ・受験準備講習について
 - ・測量コンテストの実施について
 - ・電子納品講習会の実施について
- が議題として報告された。

4. その他

委員会の委員研修について検討がなされた。



建設技術研修所

・平成27年度新入社員研修について

当協会と(一社)金沢建設業協会、東日本建設業保証(株)の共催による平成27年度新入社員研修は、去る4月7日(火)から4月10日(金)までの4日間の日程で実施した。

1 開講式

4月7日(火)午前9時から石川県建設総合センター5階研修室で実施した開講式には、北川義信協会長、竹腰勇ノ介広報研修委員長、高田直人金沢建設業協会総務副委員長、関 洋一東日本建設業保証(株)石川支店長が出席し新入社員に激励のご挨拶を頂いた。今回の受講者は55名と昨年の58名から3名減少したが、一昨年からは大きく越える参加者数となった。

2 講義

4月7日(火)午前の講義は、「建設産業の現状」について宮下克己技術建設所長、「建設業と技術者倫理」について安達 實氏(金沢工業大学客員研究員)から講習が行なわれた。

午後からは「社会人としての基本・心構え、職業人として求められる10条件とは何か。基本マナーの実際・確認、自己紹介」についてand YUU代表キャリアカウンセラー 瀬戸裕子氏から講習が行なわれた。



3 自衛隊生活体験訓練

この研修の恒例となっている自衛隊生活体験訓練は、4月8日(水)から4月10日(金)の2泊3日の日程で行われ、26名が参加した。金沢市野田町の陸上自衛隊金沢駐屯地に入隊、自衛隊員の生活の体験と個人・集団行動に関する基本動作を学ぶ訓練で、10日未明には約20kmの夜間行進を行うなど、受講者にとって厳しくかつ貴重な体験となった。



・第37回測量コンテスト開催について

第37回測量コンテストを、下記の要項により開催します。開催場所は、昨年と同じ「奥卯辰山健民公園」とします。多数の方々が参加されますようご案内申し上げます。また、本年も各地区協会代表による団体戦を行いますので各地区協会には代表チームの選定をお願いいたします。なお、このコンテストは、CPD・CPDS(4ユニット)対象予定です。

開催要項

1. 名称 第37回(平成27年度)測量コンテスト
2. 目的 測量の基礎技術について競い合い、技術の向上を目指すとともに会員相互の親睦をはかる。
3. 主催 一般社団法人石川県建設業協会
4. 共催 一般社団法人石川県測量設計業協会(講師・指導・審査の担当)
石川県土木施工管理技士会
5. 開催日時 平成27年6月4日(木)午前9時~午後2時(小雨決行)
雨天の場合6月5日(金)に順延します。
6. 開催場所 奥卯辰山健民公園(金沢市若松町ア32 TEL:(076)264 0395)

7. 競技区分

競技区分	競技種目	参加チーム数
各地区協会代表による団体戦	水準測量	9チーム (各地区協会1チーム)
企業チームによる個人戦	水準測量	約20チーム
	トラバース測量	10チーム

トラバース測量は先着10チームで締め切ります。

8. 締 切 日 5月20日(水)

9. 申し込み・お問合せ先

(一社)石川県建設業協会 建設技術研修所 担当：本多

TEL : (076) 242 1161 FAX : (076) 241 9258

E-mail : honda@ishikenkyo.or.jp

・建設業経営講習会 in 能登27 開催について

昨年に引き続き建設業経営講習会を東日本建設業保証(株)、石川県土木施工管理技士会との共催で、下記のとおり開催します。

なお、本講習会は、CPD・CPDS(3ユニット)対象予定です。

記

1. 主 催 (一社)鳳輪建設業協会 (一社)石川県建設業協会

2. 日 時 平成27年6月10日(水) 13:00~15:30

3. 場 所 (一社)鳳輪建設業協会 輪島市河井町2部282番地1

4. 演 題 「建設機械が凶器と化す魔の瞬間」

~バックホウ作業の危険性の徹底分析と本質安全化対策~

5. 講 師 (株)建設経営サービス 高木元也氏

6. 受講対象者 管理部門長、現場技術者

7. 講習概要

講習の概要	主な項目
<p>建設現場では建設機械関連の災害、とりわけ、バックホウ作業は、多岐にわたり、労働災害が多発しています。</p> <p>この講習では、バックホウ作業を共通項目、個別項目に分類しそれぞれの特定した解説をおこないます。</p> <p>また、再発防止策について、本質安全化を踏まえて解説します。</p>	<p>1 労働災害の発生状況</p> <p>2 中小建設企業における課題</p> <p>3 バックホウ作業の労働災害発生状況</p> <p>4 バックホウ作業のリスクの特定</p> <p>5 バックホウ作業の本質的な安全対策</p>

8. 受 講 料 無料

9. 締 切 日 6月3日(水)

10. 申し込み・お問合せ先

(一社)石川県建設業協会 建設技術研修所 担当：本多

TEL : (076) 242 1161 FAX : (076) 241 9258

E-mail : honda@ishikenkyo.or.jp